

# 熊本の教育は豊川からという気持ちで

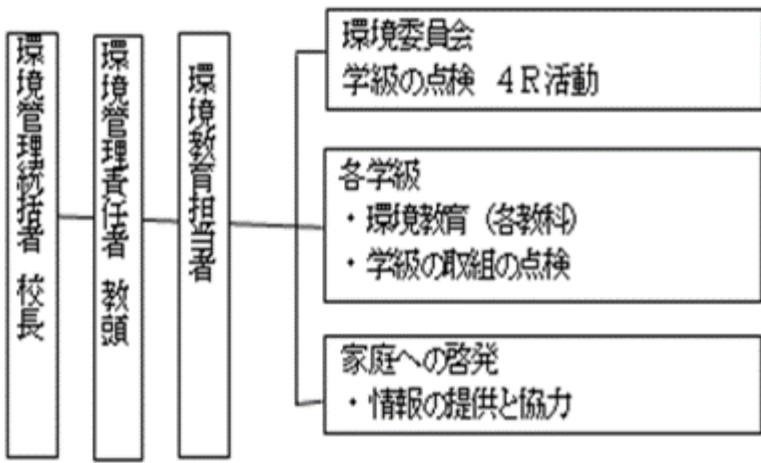
## 令和元年度 豊川小学校 環境 ISO の報告

本校のスタッフ全員でチームとなり、環境 ISO 運動に取り組みました。



本校のスタッフの似顔絵 one team で頑張りました。

### ア 組織づくり



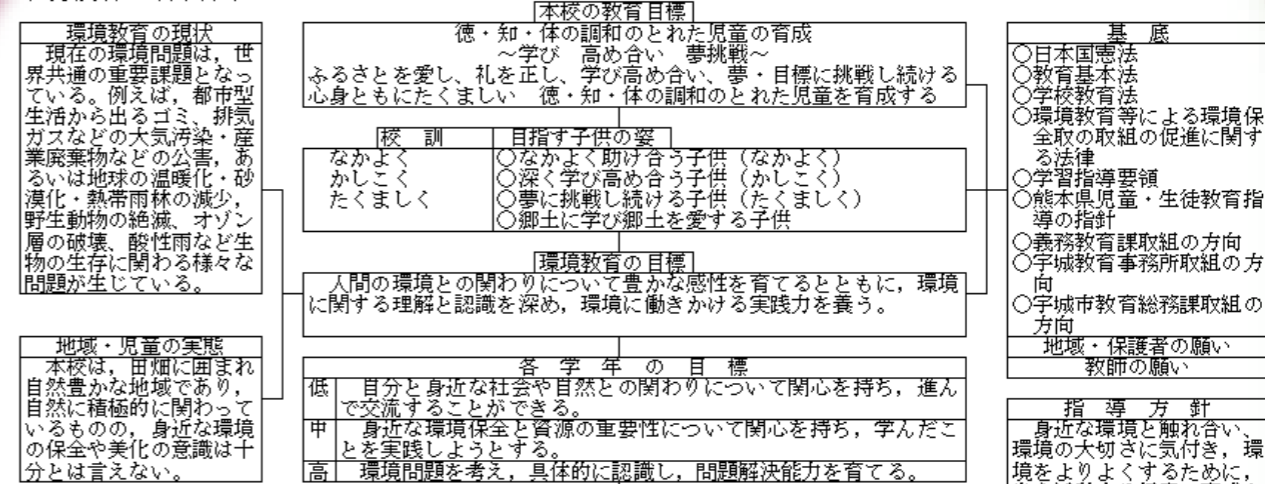
### イ 実態把握

本校は、田畑に囲まれ自然豊かな地域である。児童は、自然に積極的に関わっているものの、身近な環境の保全や美化の意識は十分とは言えない。

# 結果にコミットを合い言葉に

## エ 行動計画の作成

### 環境教育全体計画



	(ア) 課題を発見する力	(イ) 計画を立てる力	(ウ) 推論する力	(エ) 情報を活用する力	(オ) 合意を形成しようとする態度	(カ) 公正に判断しようとする態度	(キ) 主体的に参加し、実践しようとする態度
低学年	身の回りのおもちゃの自然さや不思議さに気がつくことができる。	計画や順序を知って、見通しを持って活動することができる。	体験・学習したことを基に、身近な環境について考えることができる。	多様な手段によって伝えることができる。	身の周りの環境について、自分の考えや意見をもち、それを表現することができる。	自分の生活を振り返り、善悪の判断ができる。	自分たちの生活や地域の出来事について、身近な人々と進んで交流することができる。
中学年	環境や環境問題について、自ら課題を見つけられることができる。	見通しを持って、計画的に観察・実験・調査を行うことができる。	環境に関わる事物・現象について問題解決の過程で、観察・調査から、その結果と環境の関わりについて考えることができる。	環境や環境問題に関して、観察・実験・調査をして情報を収集・整理し、効果的に伝えることができる。	地域の環境や環境問題についての自分の考えやその根拠を持って表現するとともに、相手の考えとの共通点や相違点を整理して意見を述べ合ったりすることができる。	地域の環境や環境問題の学習の成果と日常生活を関連させるとともに、自分の生き方について考えることができる。	地域の環境を見つめ、環境問題に関する情報収集に進んで取り組んだり、他の人との意見や情報の交換を深めるとともに、学んだことを実践することができる。
高学年	環境や環境問題について、進んで動きかけ、自ら課題を見つげることができる。	得られた情報から、解決するための予想を立て、基づいて、観察・実験・調査等の計画を立てることができる。	環境に関わる事物・現象について問題解決の過程で、様々なデータやグラフを解釈し、事物・現象の原因と結果の関係を考え推論することができる。	環境や環境問題に関して、情報を収集し、分類・整理・選択し、表現することができる。また、相手や目的に応じて発信・伝達することができる。	ふるさとの環境や環境問題についての自分の考えやその根拠を持って表現するとともに、相手の立場や考えを理解し、共通点や相違点を整理して意見を述べ合ったり、合意を形成しようとする態度を養うことができる。	ふるさとの環境や環境問題について多面的、総合的に考え、合理的な判断をしようとする態度を養うことができる。	ふるさとの環境や環境問題に関する情報収集や議論に主体的に取り組む、情報交換を行いながら考えを深め、保全活動などに自ら進んで加わることができる。

### ウ 宣言項目の決定

### (1) PLAN 環境 ISO 宣言



教科・領域	教科・領域における取り組み	具体的活動
国語	環境問題に関する説明文の読み取りや環境問題に対する表現活動を通して、科学的な関心を高めたり、科学的な知識を深めたりする。	各教科における知的理解・道徳等における実践力の育成
社会	地域や国土の様子について理解し、環境の保全と資源の重要性への関心を深める。	清掃活動 美化活動 愛校作業 自然に親しむ活動
算数	環境問題の関連した表やグラフを読み取り、問題を考えることを通して具体的な状況を知り、関心を深める。	飼育活動 栽培活動 勤労生産活動 省エネ活動
理科	科学的な知識を深めたり、科学的な認識を深めたりして、地域に親しむ活動を取り入れたりして、自然保護に関心をもち、表現や鑑賞の活動を通して、美しいものや豊かな情緒を養う。	資源を大切に活動 ものを大切に活動 ゴミの持ち帰り運動 花いっぱい運動の推進 学校版環境 ISO の取り組み 遠足の時のゴミ拾い
音楽	英語の学習を通して、環境問題について国内外に視野を広げたり、表現しようとする態度を養う。	
図工	環境問題について、環境の美化、ゴミの処理など、快適な生活ができるよう工夫する。	

環境教育 年間指導計画【一部抜粋】

月	総合的な学習の時間	教科・道徳等	学校行事等	地域素材
4		(国) 動物の体と気候 (ウ)		
5		(社) 食料生産 (ア)	環境 I S O (カ,キ)	
6		(理) 生命のつながり		実習園
7	「豊川の米作り」(ア,エ,カ,キ) ・種籾をまこう ・田植えをしよう	(国) 資料を生かして考えたことを書こう (ウ,エ)	集団宿泊教室 (ア,イ,ウ,エ,オ,カ,キ)	
9		(道) ひとふみ十年 (オ,カ,キ)		
10	「稲刈りをしよう」 「郷土に伝わる伝統芸能」(キ) ・東松崎底井樋太鼓踊りについて調べたり、体験しめよう	(社) わたしたちの生活と工業生産工業生産 (ア)	豊川小まつり (キ)	実習園
11		(社) 私たちの生活と環境 (オ,カ,キ)		
12	「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(ア,イ,ウ,エ,オ,カ,キ) ・事前指導・水俣を知ろう ・事後指導・学んだことを知らせよう	(算) 算数の目で見よう「ごみの減量と二酸化炭素」(ウ,エ)	お別れ遠足 (ア)	特産物
1		(家) 物を生かして住みやすく (ア,イ)		
2				
3				

オ 行動

(2) DO 各実践

教職員の努力

紙使用量を減らすために、会議では、パソコンの共有データで画面による提案を行いペーパーレスを推進する。

地域（保護者）の努力

5月、8月の2回保護者の協力で除草・運動場の整地作業を行った。  
地区ごとに、夏休み地区の清掃活動も行った。

環境学習（水俣での学び）



水俣に学ぶ肥後っ子教室などを通して、水俣病や環境教育について深く学んだ。

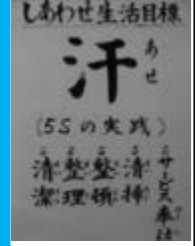
各種の学び（木工教室など）



社会見学旅行や県主催（宇城地域振興局農林部）の木工教室、ゲストティーチャーによる郷土の特産物（蓮根）の授業などで、自然環境に対する関心を高め、熊本県の自然を学ぶことができた。

子供たちの努力

本校の幸せ生活目標を基に子供たちは、朝のボランティア活動の清掃活動や花植えなど日々の勤労生産奉仕的活動に取り組んだ。



ごみの分別も宇城市の方針に則して行った。

環境委員会の常時活動(靴並べ、傘並べ、花への水かけ)で潤いのある環境づくりを行った。また、環境チェックで掃除活動の評価を定期的に行い縦割り班掃除活動の評価を通して、掃除の充実を図った。さらに、パーフェクトノートコンクールを実施する中で、ノートを無駄なく大切に使用することを意識付けした。

コップのうがい等で節水、室内の半灯推進で節電、裏紙のリサイクル紙利用などで無駄を無くす工夫を行った。



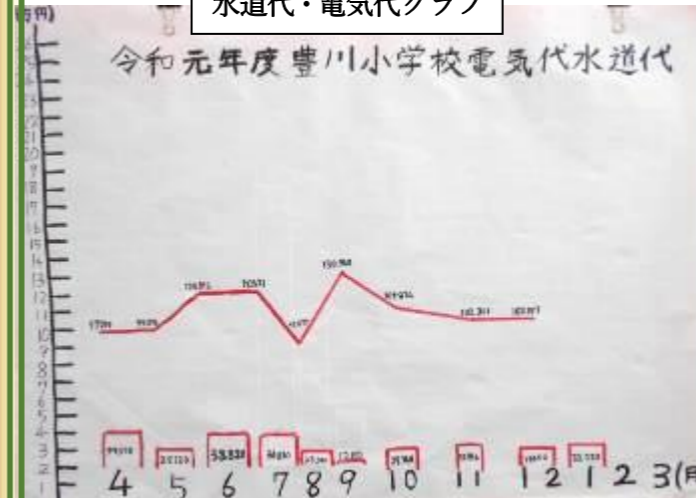
10月から縦割り班掃除活動で6年生がリーダーとして児童主体の掃除を課題意識を持って行った。

カ 点検・記録

(3) CHECK 評価

環境教育推進のシンボルの絵 (テーマ「愛は地球を救う」)

水道代・電気代グラフ

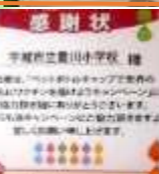


毎月月初めに環境委員会の児童が作成した水道代・電気代のグラフを掲示して節水・節電を呼び掛けた。また、本校児童が「熊本県環境絵画コンクール」にて特選に選ばれた絵画を環境教育推進のシンボルとして環境を大切にすることに取り組んだ。

電気代	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月	136688	90906	97709
5月	138234	99480	99078
6月	168708	138105	120816
7月	207855	197101	122521
8月	168022	142088	93079
9月	170192	141820	130960
10月	106222	104224	109834
11月	101918	105855	102361
合計	1197839	1019579	876358

水道代	平成29年度	平成30年度	令和元年度
4月	39320	48030	39570
5月	28610	32850	27120
6月	36580	44300	38820
7月	41560	38820	36830
8月	29610	29850	23380
9月	14910	17400	12180
10月	35830	29610	27360
11月	41810	33090	30940
12月	72930	36580	28650
合計	341160	310530	264850

上記の表の部分だけでも2年間で、電気代は321、481円削減、水道代は76、310円削減できた。合計397、791円削減できた。つまり、結果にコミットすることができた。



ペットボトルのふた集めを行うことでポリオワクチン2人分をまかなう費用を寄付することができ、賞を得ることができた。



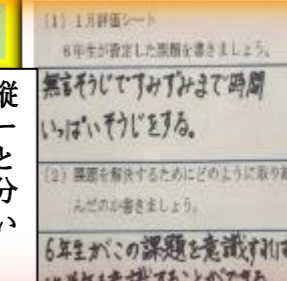
学校園(豊川ファーム)では、様々な野菜などを植え、児童が収穫の喜びを得ることができた。また、花いっぱい運動では、「奨励賞」を受け、100枚程度の花言葉を立てることができた。

キ 見直し

(4) ACTION 微調



2月から5年生が縦割り班掃除活動のリーダーになり、班ごとに掃除場所、役割分担について話し合い課題を共有した。



今後は、児童がより主体的に活動を行い、活動を通して、児童の自尊感情や自己肯定感・自己有用感を高めるように工夫改善する必要がある。そのためには、児童の話し合い活動などを通して児童の汎用的能力を高める場を定期的に設けたい。そして、評価を行うことで学校全体に広め、組織力も高めたい。